

短期間・低コスト・高品質でのSAP S/4HANA導入 ～ SAP Best Practices のご紹介 ～

【開催日】 2018年2月20日（火） 14:00-16:30（受付開始 13:30）

【会場】 SAPジャパン株式会社 西日本支社（大阪市北区梅田3-3-10 梅田ダイビル5F）

【対象】 SAPにご関心のあるお客様、SAPの導入方法にご興味のあるお客様

【主催】 株式会社クニエ、SAPジャパン株式会社

【参加費】 無料（事前登録制）

【申込み】 <http://www.qunie.com/seminar/eve180220.html>



2015年2月に発表されて以来、日本においても多くのお客様でSAP S/4HANAの導入が進んでいます。その豊富な機能故、テンプレートやツール、導入方法論の活用が重要であることは言うまでもありません。SAP Best Practicesは、SAPが全世界のお客様から得た業務知識をもとに作成した、SAPが提供する標準テンプレートです。R/3やECC版でも提供していましたが、SAP S/4HANAにおいてもリリース時より利用可能となっています。最近ではこのBest PracticesをPOC等で活用いただくプロジェクトが非常に増えてきており、このSAP Best Practicesをベースにしたパートナーソリューションもリリースされ始めています。

本セミナーでは、SAP S/4HANAを短期間・低コスト・高品質で導入するための支援ツールSAP Best Practicesをご紹介します。

13:30-	受付開始
14:00-14:05	ご挨拶
14:05-15:05	SAP S/4HANAベストプラクティス最新情報アップデート SAPジャパン 株式会社 デジタルエコシステム統括本部 ビジネスイノベーション推進部 パートナー技術支援室長 三鬼堅成 本セッションではBest Practices for S/4HANAの概要・特徴および活用方法についてご説明させていただきます。業務プロセスの視点からスコープアイテムと称する様々な業務処理フローをご紹介します、技術管理の視点からビルディングブロックと称するパラメータ設定やマスター設定の概要をご説明いたします。
15:05-15:20	休憩
15:20-16:20	クニエが実践するSAPベストプラクティス導入アプローチ 株式会社 クニエ 中部・西日本事業部長 細谷修平 SAPが推奨する標準テンプレート「Best Practices」を活用することにより全世界のSAP技術者と共通の言語・導入手法について共通理解を図ることができ、運用・保守及び新規拠点への展開を効率的に行うことが可能になります。標準テンプレートを活用したCRP(Conference Room Pilot)により実機で業務がどう変わるか実感しながらユーザー部門とToBe業務を検討します。これによりキーユーザーを早期育成することも可能で、後続の導入作業へのスムーズな移行が図れます。特にグローバルにシンプルにS/4HANAを展開するには有効な手段となります。
16:20-16:30	Q&A

お申込みは担当営業にご連絡いただくか、下記URLからお願いいたします。

<http://www.qunie.com/seminar/eve180220.html>

*プログラム内容は変更が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。